

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やすらぎ

作成日: 平成 30 年 3 月 22 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように、議題や内容を検討し、参加委員が参加したくなる運営推進会議を目指していく。	複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んでいく。また、家族が参加しやすい日時に合わせて会議を開催することも検討していく。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護力に差があるため、職員のスキルアップに取り組み、情報を共有する事で、利用者に対して、統一したケアが出来る体制を整えていく。	職員の意欲や習熟度に合わせて、交代で外部研修に参加してもらい、職員の知識や介護技術の向上を図り、どの職員が介護しても同じレベルのケアが出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。